

令和4年度

事業報告書

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

社会福祉法人 東京福社会

I 令和4年度の経営環境と事業の概況

1. 令和4年、東京都の高齢者人口は312万人で対前年比2千人の増加となり、過去最高を更新した。高齢化率は23.5%であり、前年と比べ0.1%上昇、過去最高を更新した。このうち、「65歳から74歳までの人口」は141万人で対前年比5万2千人の減少となり、「75歳以上の人口」は171万人で対前年比5万4千人の増加となった。また、令和3年中の東京都内の死亡者数は12万7千人余りとなっており、15年連続の増加となった。
2. 葬祭部門では、新型コロナウイルス感染症の影響により前年度まで通夜や会食を控えるお客様が多く見受けられた。しかし、令和4年度には少しずつコロナ禍前の水準に戻りつつあり、式場収入は前年比30%増、飲食収入も前年比79%増となった。その結果、公益事業では1件あたりの単価が91万2千円と前年比で1万9千円増となり、事業収入は14億4,677万1千円で前年比1億2,305万4千円の大幅な増収を達成した。また、施行件数も1,586件で前年比104件増となった。助葬事業においては、施行件数が3,323件と前年比で21件増え、9年連続で3,000件を超えることができた。
公益事業と助葬事業を合わせた事業実績では、施行件数は4,909件であり、事業収入は21億6,513万9千円となった。
3. 高齢福祉部門では、各園の自立的経営を目指し、前年度に特別養護老人ホームとショートステイの利用定員の用途変更や認知症対応型デイサービスの廃止など、運営体制を再構築した。その結果、練馬高松園およびデイサービスは利用率が向上し黒字転換に成功した。また、第3練馬高松園は開設2年目にも関わらず、経常増減差額が3,629万9千円と大幅な収益を上げ、経営が安定した。しかし、第2練馬高松園は例年を大幅に上回る特別養護老人ホームの退所者が発生したため、利用率が低下した。
特別養護老人ホームとショートステイを合わせた利用率は、練馬高松園が97.2%で前年比1.5%増加し、第2練馬高松園が93.0%で前年比1.8%減少、第3練馬高松園が94.5%で前年比27.4%増加し、デイサービスが66.6%で前年比10.6%増加した。
4. 法人全体のサービス活動収益は39億6,784万3千円、経常増減差額は4億6,165万5千円となった。

II 経営理念とサービス提供方針

1. 経営理念

東京福祉会は、高齢者の介護や葬儀など、高齢期の生き方を支える事業を誠実にを行い、地域社会に貢献する。

2. サービス提供方針

- (1) お客様とのコミュニケーションを第一に、納得し満足していただけるサービスを提供する。
- (2) 高齢期の多様なライフスタイルを尊重し、個別ニーズに応えるサービスを提供する。
- (3) 職員は、常に感性やスキルを磨き、クオリティの高いサービスを提供する。

III 令和4年度基本方針

- (1) 葬祭部門の実績・収入を右肩上がりにするため、業務本部、渉外推進本部が一体となり、営業活動を強化する。また、葬儀担当には提案力の高い職員を選任する等、少数精鋭で対応する。
- (2) 高齢福祉部門の慢性的赤字体質を黒字化するため、練馬高松園のデイサービスの体制を見直す。また、3園の一体的運営を促進させ事務の一元化に取り組むとともに、将来的に3園の事務を統括する運営本部の設置を目指す。
- (3) 経費削減の観点から、葬祭委託費の削減、人件費の抑制に取り組む。また、職員一人ひとりが削減意識をもって、光熱費の抑制に努める。

IV 主要事業の事業実績

1. 葬祭部門

(1) 助葬事業

施行件数 : 3,323 件 (目標達成率 87.0%)

事業収入 : 718,368 千円 (目標達成率 90.9%)

助葬事業取扱状況

(単位：件／千円)

区分	事業計画 (目標)		事業実績		目標達成率	
	施行件数	事業収入	施行件数	施行件数	施行件数	事業収入
令和4年度	3,818	790,335	3,323	718,368	87.0%	90.9%
令和3年度	3,818	790,335	3,302	709,254	86.5%	89.7%
差異	±0	±0	21	9,114		
前年度対比	100.0%	100.0%	100.6%	101.3%		

齋場別内訳

(単位：件／千円)

区 分	事業計画 (目標)		事業実績		目標達成率	
	施行件数	事業収入	施行件数	事業収入	施行件数	事業収入
道灌山会館	183	32,249	152	38,779	83.1%	120.2%
江古田齋場	3,021	630,854	2,580	552,835	85.4%	87.6%
ホール多摩国立	614	127,232	591	126,754	96.3%	99.6%
合 計	3,818	790,335	3,323	718,368	87.0%	90.9%

(2) 公益事業

施行件数 : 1,586 件 (目標達成率 99.5%)

事業収入 : 1,446,771 千円 (目標達成率 90.8%)

1 件当り単価 : 912 千円 (令和 3 年度 893 千円)

公益事業取扱状況

(単位：件／千円)

区 分	事業計画 (目標)		事業実績		目標達成率	
	施行件数	事業収入	施行件数	事業収入	施行件数	事業収入
令和 4 年度	1,594	1,593,953	1,586	1,446,771	99.5%	90.8%
令和 3 年度	1,594	1,593,953	1,482	1,323,717	93.0%	83.0%
差 異	±0	±0	104	123,054		
前年度対比	100.0%	100.0%	107.0%	109.3%		

齋場別内訳

(単位：件／千円)

区 分	事業計画 (目標)		事業実績		目標達成率	
	施行件数	事業収入	施行件数	事業収入	施行件数	事業収入
道灌山会館	485	454,277	434	355,794	89.5%	78.3%
江古田齋場	994	1,044,039	1,048	1,018,252	105.4%	97.5%
ホール多摩国立	115	95,637	104	72,725	90.4%	76.0%
合 計	1,594	1,593,953	1,586	1,446,771	99.5%	90.8%

※道灌山会館の施行件数には、日本歯科大から依頼の献体火葬 (直葬) を含む

※江古田齋場の売上高には、単品の生花を含む

会友 B プラン加入状況

区 分	事業計画 (目標)	事業実績	目標達成率
令和 4 年度	1,000 名以上	498 名	49.8%
令和 3 年度	1,000 名以上	489 名	48.9%
差 異	±0	9	
前年度対比	100.0%	101.8%	

(3) 霊園事業

事業収入 : 119,975 千円 (目標達成率 87.0%)

霊園事業収入の状況

(単位: 千円)

区 分	事業計画 (目標)	事業実績	目標達成率
令和 4 年度	137,849	119,975	87.0%
令和 3 年度	137,849	97,010	70.4%
差 異	±0	22,965	
前年度対比	100.0%	123.7%	

2. 高齢福祉部門

特別養護老人ホーム等の利用実績

訪問対象	事業計画 (目標)	事業実績	目標達成率
練馬高松園			
特別養護老人ホーム (①)	96.7%	97.4%	100.7%
ショートステイ (②)	108.1%	96.1%	88.9%
計 (①+②)	98.3%	97.2%	98.9%
デイサービス	90.0%	66.6%	74.0%
居宅介護支援 サービス計画作成	70 件/月	942 件	112.1%
第 2 練馬高松園			
特別養護老人ホーム (③)	96.7%	91.6%	94.7%
ショートステイ (④)	108.1%	106.6%	98.6%
計 (③+④)	98.3%	93.0%	94.6%
第 3 練馬高松園			
特別養護老人ホーム (⑤)	96.7%	97.3%	100.6%
ショートステイ (⑥)	108.1%	77.5%	71.7%
計 (⑥+⑦)	98.3%	94.5%	96.1%

V 主要な取組み

1. 葬祭部門

(1) 効率的かつ機動的な営業活動

訪問目的、訪問対象、時期ごとに重点営業項目を明確にしたうえで、渉外推進本部と業務本部が地域、業態等により訪問先を分担し、訪問営業を実施した。昨年度より新たな訪問対象とした居宅介護支援事業所、グループホームを含め 8,031 件の訪問活動を実施し、3,500 件の年間目標を大幅に上回った。

また、2 巡目、3 巡目の訪問に際しては訪問台帳を活用し、前回窓口や内容を事前に確認したうえで訪問し、継続性のある訪問活動となるよう心掛けた。

渉外活動訪問先別件数

(単位：件)

訪問対象	事業計画 (目標)	事業実績	目標達成率
福祉事務所（行旅）	50	62	124.0%
警察署	142	135	95.1%
社会福祉協議会	45	81	180.0%
地域包括支援センター	258	292	113.2%
病院	378	400	105.8%
特別養護老人ホーム等	324	1073	331.2%
老人保健施設	93	119	128.0%
有料老人ホーム等	266	640	240.6%
訪問介護事業所	385	1868	485.2%
訪問看護事業所	388	759	195.6%
居宅介護支援事業所	971	1760	181.3%
グループホーム	200	396	198.0%
公益団体、企業等	-	292	-
成年後見（人）センター	-	11	-
その他		143	
合計	3,500	8,031	229.5%

(2) 会友 B プラン新規加入者数 1,000 人以上を目指した取り組み

葬儀施行時や事前相談時に加入を促進するほか、広報誌「響」に会友の紹介制度や加入メリットを紹介した特集ページを掲載する等、加入促進に努めたが、新型コロナウイルス感染症の影響により展示会や施設見学会等を自粛したことから、加入件数が伸び悩んだ。

次年度においては、展示会等の主催イベントを再開し、加入を働きかける直接的な機会を増加させ、加入促進に努める。

(3) 団体特約契約の推進

渉外推進本部と業務本部が連携し、特別養護老人ホーム、企業、公益団体等を対象に団体特約契約の働きかけを行った。次年度は団体特約契約のメリットを明確にした宣材を作成し、既契約団体の関連施設等への訪問営業を強化し、契約締結に向けた働きかけを行う。

(4) 営業力の高い職員の選任

葬儀担当に営業力の高い職員を選任にし、少数精鋭で取り組んだ。また、商品の利益率に着目した職員研修を行い、葬儀単価の下落傾向が続く中でも、必要な利益が確保できるよう職員の商品知識を高めた。

さらに、令和 5 年 1 月に新型コロナウイルス感染症に関する国のガイドラインが見直され、ご遺族の意思を尊重し、1 月以降は新型コロナウイルス感染症で亡くなった方の通夜・葬儀を行うことが可能となった。国のガイドラインに基づき、当会においても一般葬（飾り）の提案を適宜実施した。

(5) 委託費を中心とした経費削減

創業者の精神を忘れず、職員自らの手で葬送する原点に立ち戻り、寝台車、葬祭ヘルパー、霊柩車といった委託費の削減に取り組んだ。また、助葬事業においては、民営火葬場と比べ火葬料が安価な公営火葬場の利用を優先し、火葬料の削減に努め、年間を通じて成果を上げることができた。

(6) 顧客満足の上

完全予約・定員制の葬祭セミナーを定期的実施した。遺品整理や相続、墓じまい等、葬儀に限らず幅広いテーマで開催したことから、申し込みが多数あり、年度途中から定員数を増員させる等、大変好評であった。

また、WEB を利用した訃報案内・供花申込サービスを 4 月より導入し、スマートフォンを通じた訃報案内や供花の申込が可能となり、顧客の利便性が向上した。

(7) 効率的な広報活動

葬儀後の手続きや一周忌の案内等を遺族へ定期的に自動通知するサービス「SMS 安心サポートサービス」を 7 月より実施し、一周忌等の節目に自動通知を行うことで、効率的な広報活動が可能となった。その他、終活ブーム

の影響により近年増加傾向にある事前相談を PR するため、案内チラシのポスティングを定期的に変更した。

(8) 新基幹業務システムの本稼働

業務改善の一環として着手していた新基幹業務システムが令和 5 年 2 月に予定通り本稼働した。本稼働にあたり葬祭部門の全職員を対象とした職員研修を実施し、新たなシステムの操作説明や機能について、職員の理解度向上を図った。

2. 高齢福祉部門

(1) 自立的経営に向けた取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響や光熱費の高騰により、依然厳しい施設運営となったが、練馬高松園は利用率が改善され黒字となった。特に常態として赤字となっていたデイサービスについても、定員数ではなく利用実績に応じた職員配置とすることで黒字化に成功した。また、第 3 練馬高松園も開設 2 年目にして利用率が安定し、大幅な黒字転換を達成することができた。第 2 練馬高松園については、例年を大幅に上回る特養退所者が発生したこと等から利用率が伸び悩んだ。

(2) 3 園の一体的運営の促進

3 園の一体的運営を促進するため、採用・入所希望者の窓口の一本化、緊急時の応援体制の構築、車両の共有化、共通研修を実施した。

また、運営本部を想定した 3 園の施設長・副園長及び本部の特養調整担当による施設長会を月に 1 回開催した他、事務の標準化のため 3 園の事務職員と副園長によるミーティングを定期的に変更した。

(3) 感染症対策の徹底

感染症対策委員会を中心に感染予防対策を実施し、また東京都から提供された抗原検査・PCR 検査キットを用いて、感染者の早期発見に努めた。職員から感染者（濃厚接触者含む）が発生した際は、職場復帰の際にも PCR 検査での陰性確認を実施する等、感染拡大防止に取り組んだ。また、定期的な換気の徹底、特養の入所前 2 回の PCR 検査等も引き続き実施した。

(4) 練馬高松園の大規模改修

令和 5 年 1 月 31 日に一般競争入札を実施し、2 月の理事会にて工事契約の決裁を受け、2 月 21 日に施行業者が決定した。工事は 3 月 1 日より着工し、令和 5 年 10 月に工事完了予定となっている。

(5) 職員の資格取得支援

認知症ケア、医療ケアの向上のため、認知症ケア専門士及び喀痰吸引の資格取得を支援した結果、認知症ケア専門士に 1 名合格、喀痰吸引資格に

については2名が必要な実地研修を修了した。

(6) 災害対策の強化

第3練馬高松園を新たに加えた4者(3園+高松町会)総合防災訓練、BCPに基づく訓練を実施した。また、練馬高松園デイサービスと第3練馬高松園は練馬区福祉避難所に指定されていることから、練馬区職員・近隣住民が参加のうえ福祉避難所受入訓練を実施した。

(7) 地域社会・利用者家族との交流

新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントの自粛を継続していたが、感染リスクの少ない屋外でのイベントを検討し、3年ぶりに子ども達によるソーラン節の演武、ボランティアによる和太鼓演奏等の「世代間交流」を実施することができた。

(8) 生活リズムの支援及び行事・趣味活動の充実

新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向にあった下半期に、利用者のリクエストを踏まえながら、園内での桜の花見、書道、フラワーアレンジメント等を企画し、徐々に園内行事を再開した。

3. 自立支援事業

東京都及び特別区人事・厚生事務組合から事業を受託し、路上生活者のための住宅を借上げ、管理する事業を行った。令和4年度は前年度同様に2法人へ合計60戸提供した。

借上げ住宅利用状況

令和5年3月31日現在

区分	荒川寮 (有隣協会)	墨田寮 (新栄会)	合計
借上げ戸数	30戸	30戸	60戸
在所者数	15名	7名	22名
平均在所日数	96.5日	76.7日	86.4日
平均年齢	54.3歳	51.4歳	52.8歳

4. 法人全体

(1) 新型コロナウイルス感染症防止対策の徹底

事務所内の定期的な換気呼びかけ、毎朝の出勤時・朝礼後・昼食後等、1日3回程度の換気を徹底した。また、令和5年3月13日以降、国の方針としてマスク着用は個人の判断が基本となったが、葬祭部門においては高齢のお客様との対応が多いことや、介護施設従事者は着用が推奨されていることを考慮し、当会においては職員の就業中のマスク着用を継続することとした。

(2) 管理費（光熱費）の抑制

職員一人ひとりが削減意識をもって、管理費（光熱費）の抑制に努めたが、電気・ガス料金の高騰により費用負担が増え、収支に大きな影響を与えた。次年度もさらなる高騰が予想されることから、引き続き削減意識をもって取り組む。

(3) 社会福祉充実計画の申請および進捗管理

令和4年度から8年度までの社会福祉充実計画について、8月に所轄庁の承認書を受理した。計画の策定にあたっては、社会福祉充実計画の承認等に係る事務処理基準の特例を準用し、令和3年度末の社会福祉充実残額16億281万円の2分の1以上となる8億1,752万円の計画とし、「①新特養の建設②練馬高松園大規模改修③基幹業務システムの更新」に充てるものとした。

VI 法人全体の財務状況

令和4年度における事業活動増減の状況は、サービス活動収益は39億6,784万3千円で、前年度に比して3億4,077万円の増となった。サービス活動費用は35億1,100万5千円で、前年度に比して3,062万6千円の増となった。

その結果、サービス活動増減差額は4億5,683万7千円となり、前年度に比して3億1,014万5千円の増となった。なお、経常増減差額は4億6,165万5千円となり前年度に比して3億1,547万6千円の増となった。

第3練馬高松園については、開設2年目となり経営が安定した。また、葬祭部門においては式場収入や飲食収入が改善傾向にあると共に、職員が一丸となって委託費の削減や人件費の抑制に取り組んだことが増収増益の主な要因となった。

事業別 事業活動増減の状況

(単位:千円)

項目		令和4年度								令和3年度合計(B)	増減(A-B)
		法人合計(A)	本部	葬祭事業	自立支援事業	練馬高松園	第2練馬高松園	第3練馬高松園	霊園事業		
活動増減	収益	3,967,843	45	2,201,309	53,015	696,660	419,751	477,089	119,975	3,627,072	340,770
	費用	3,511,005	44,127	1,772,238	52,989	680,778	428,310	441,385	91,180	3,480,380	30,626
	増減差額(①)	456,837	△44,082	429,071	26	15,882	△8,558	35,704	28,795	146,693	310,145
活動外増減	収益	13,904	847	3,341	0	3,476	2,176	4,049	13	8,912	4,991
	費用	9,086	0	0	0	2,217	3,415	3,455	0	9,426	△340
	増減差額(②)	4,817	847	3,341	0	1,259	△1,238	595	13	△514	5,331
経常増減差額(①+②)		461,655	△43,235	432,412	26	17,141	△9,797	36,299	28,808	146,179	315,476

※千円未満四捨五入や内部取引消去をしているため合計額等が一致しない場合がある。

事業別 資金収支の状況

(単位:千円)

項目		令和4年度								令和4年度予算合計(B)	増減(B-A)
		法人合計(A)	本部	葬祭事業	自立支援事業	練馬高松園	第2練馬高松園	第3練馬高松園	霊園事業		
事業活動	収入	3,981,763	892	2,204,650	53,032	700,136	421,927	481,138	119,988	4,272,420	290,657
	支出	3,380,330	38,823	1,705,516	52,809	663,737	410,920	409,102	99,424	3,481,602	101,272
	収支差額(①)	601,434	△37,931	499,134	223	36,399	11,008	72,036	20,564	790,818	189,384
施設整備等	収入	6,791	0	0	0	2,000	4,791	0	0	6,230	△561
	支出	110,871	0	38,855	64	24,719	36,212	11,021	0	145,142	34,271
	収支差額(②)	△104,079	0	△38,855	△64	△22,719	△31,421	△11,021	0	△138,912	△34,833
その他活動	収入	175,074	199,525	94,491	438	258	17	3	43,445	23,932	△151,142
	支出	443,698	159,000	412,077	438	3,794	1,914	2,833	26,745	277,525	△166,173
	収支差額(③)	△268,624	40,525	△317,586	0	△3,536	△1,897	△2,830	16,701	△253,593	15,031
当期資金収支活動合計		228,730	2,594	142,694	159	10,144	△22,311	58,185	37,265	283,738	55,008

※千円未満四捨五入や内部取引消去をしているため合計額等が一致しない場合がある。

